

科目名	卒業研究ゼミ 2 (卒業必修)			
授業形態	演習	学年	2	
開講時期	2021 年度 前期～後期	単位数	2	
担当教員	八木橋 彰			
内容および計画	<p>卒業研究ゼミ (八木橋) では、ビジネスの問題や地域の抱える問題を商学の視点から検討する。すなわち、「なぜこの商品は売れるのか」、「なぜこの小売店はここに立地しているのか」、「なぜ商店街は衰退しているのか」、「なぜ買物弱者が増加しているのか」といった課題に対する解決方法をマーケティング論・流通論・消費者行動論の理論を用いて検討する。</p> <p>卒業研究ゼミ II (八木橋) では、卒業研究ゼミ I (八木橋) の輪読の続き、春休みの課題についてのプレゼンテーション、卒業研究の進捗報告を行う。したがって、前期は、輪読と並行して、卒業論文のテーマ、研究計画について随時報告してもらおう。また、後期は、卒業論文の進捗状況を随時報告してもらおう。卒業論文の研究テーマは、どんなテーマであっても構わないが、商学の視点から検討することを条件とする。また、研究形態の選択 (個人研究・グループ研究・ゼミ生全員による研究) も学生諸君に委ねる。</p>			
1	授業の進め方、発表順番の決定			
2	輪読			
3	輪読			
4	輪読			
5	輪読			
6	輪読			
7	輪読			
8	輪読			
9	輪読、および卒業論文のテーマ・研究計画の報告			
10	輪読、および卒業論文のテーマ・研究計画の報告			
11	輪読、および卒業論文のテーマ・研究計画の報告			
12	輪読、および卒業論文のテーマ・研究計画の報告			
13	輪読、および卒業論文のテーマ・研究計画の報告			
14	輪読、および卒業論文のテーマ・研究計画の報告			
15	輪読、および卒業論文のテーマ・研究計画の報告			
16	卒業論文の報告			
17	卒業論文の報告			
18	卒業論文の報告			
19	卒業論文の報告			
20	卒業論文の報告			
21	卒業論文の報告			
22	卒業論文の報告			
23	卒業論文の報告			
24	卒業論文の報告			
25	卒業論文の報告			
26	卒業論文の報告			
27	卒業論文の報告			
28	卒業論文の報告			
29	卒業論文の報告			
30	卒業論文の報告			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年

使用するテキスト・論文は、学生諸君との話し合いで決定する。

参考書	授業中に適宜指定する。
------------	-------------

成績評価

評価方法	割合(%)
平常点（発表内容・卒業論文・積極性・出席状況）	100

特別な事情がない限り、遅刻・欠席は認められない。

学習到達目標	・研究・提案活動を通じて、日常の問題を自発的に考えるプロセス・習慣を習得して会津大学短期大学部を卒業すること。
先修条件	・卒業研究ゼミ1を履修済みであること。
実務経験	
その他	・課外活動などの状況によって授業計画を変更することがある。その際、正規の授業時間以外にも行われる可能性もあるので、こうした状況に対しても柔軟に対応すること。